

---

## 第2日目 5月23日 (金)

---

シェラトン都ホテル大阪 4F 浪速の間 (西)

### モーニングセミナー

8:00 ~ 8:50

【共催：株式会社ヤクルト本社】

演 題：がん免疫療法の進展と将来展望 - 抗体療法と細胞療法 -

座 長：奥野 清隆 (近畿大学医学部 外科)

演 者：玉田 耕治 (山口大学大学院医学系研究科 免疫学分野)

特別発言：桑野 博行 (群馬大学 病態総合外科)

### 一般演題 (口演) 8 「バイオマーカー 1」

9:00 ~ 9:30

座長：夏越 祥次 (鹿児島大学 消化器・乳腺甲状腺外科学)

山口 佳之 (川崎医科大学 臨床腫瘍学)

- 8-1 PSKによる大腸癌術後補助免疫療法の効果におよぼすサイトカイン遺伝子多型の影響  
山口大学大学院医学系研究科 消化器・腫瘍外科学 吉野 茂文
- 8-2 乳癌患者におけるIL-17の予後における検討  
埼玉医科大学 国際医療センター消化器腫瘍科 権田 憲士
- 8-3 胃癌術後の周術期における細胞性免疫低下のメカニズムの検討  
鳥取大学医学部 病態制御外科 高屋 誠吾
- 8-4 乳癌における制御性T細胞の集積をマーカーとしたセンチネルリンパ節微小転移と非センチネルリンパ節転移の診断  
千葉大学大学院 臓器制御外科 榊原 雅裕

### 一般演題 (口演) 9 「バイオマーカー 2」

9:30 ~ 10:00

座長：内山 和久 (大阪医科大学 一般・消化器外科)

中島 祥介 (奈良県立医科大学 消化器・総合外科学教室)

- 9-1 進行再発大腸癌に対するmFOLFOX6とエピトープペプチド併用療法における血中抗ペプチド抗体の解析  
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 竹之内寛子
- 9-2 消化器癌患者における末梢血単核球のIL-17 産生能の予後における検討  
福島県立医科大学器官制御外科学 矢澤 貴

- 9-3 胃癌における免疫補助刺激分子B7-H3およびB7-H4発現の臨床的意義と個別化治療への可能性  
鹿兒島大学大学院 腫瘍学講座 消化器・乳腺甲状腺外科学  
慈愛会 今村病院分院 外科・消化器外科 有上 貴明
- 9-4 Aromatase Inhibitor耐性の乳癌再発症例におけるTremifeneの治療効果とIndoleamine 2,3-dioxygenaseの発現について  
日本大学 医学部 外科系 乳腺内分泌外科分野  
医療法人社団 藤崎病院 外科 櫻井 健一

### **主題2-1 「癌の進展に関わる宿主因子(全身、局所)と治療[新規]」 10:00～11:00**

座長：吉田 和弘 (岐阜大学 腫瘍外科)

遠藤 格 (横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学)

- S2-1 高齢者切除不能胃癌のTS-1+レンチナン併用療法に対する宿主の免疫能評価  
埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科 福地 稔
- S2-2 肝細胞癌の癌部及び非癌部におけるPPAR $\gamma$ 活性変化の発癌及び腫瘍増殖への関与の検討  
千葉大学大学院 臓器制御外科学 久保木 知
- S2-3 胃癌症例の宿主骨髄細胞において腹膜播種と関連する遺伝子-microRNA axisの同定  
九州大学病院別府病院 外科 江口 英利
- S2-4 乳管癌における非浸潤性と浸潤性のCD147発現程度の差について  
日本大学 医学部 外科学系 乳腺内分泌外科分野 長島 沙樹
- S2-5 結腸癌における宿主免疫応答の解析—癌組織内浸潤CD8+T細胞数と予後の検討  
東京医科歯科大学大学院腫瘍外科学 石川 敏昭
- S2-6 肝細胞癌の発育における血管新生因子  
岐阜大学 医学部 腫瘍外科 杉山 太郎

### **主題2-2 「癌の進展に関わる宿主因子(全身、局所)と治療[新規]」 11:00～12:00**

座長：柴田 昌彦 (埼玉医科大学国際医療センター 消化器腫瘍科)

桑野 博行 (群馬大学大学院 病態総合外科 (第一外科))

- S2-7 上部消化器癌におけるHLA Class Iの発現機構について  
山梨大学 医学部外科学講座第1教室  
Department of Surgery, National University of Singapore 三村 耕作

- S2-8 胃癌腹膜播種患者における腹腔内マクロファージの検討  
 金沢大学病院 消化器・乳腺・移植再生外科 山口 貴久
- S2-9 食道癌術後感染性合併症が長期予後に及ぼす影響  
 横浜市立大学 消化器・腫瘍外科学 村上 崇
- S2-10 固形癌におけるProgrammed Death of Ligand 1(PDL)発現の生物学的意義  
 九州大学 医学研究院 がん先端医療応用学講座  
 九州大学大学院 医学研究院 消化器・総合外科  
 九州大学病院 病理診断科 病理部 岡野 慎士
- S2-11 癌の進展における全身性炎症とそれに関わる免疫抑制メカニズムの検討  
 埼玉医科大学国際医療センター 消化器腫瘍科  
 福島医科大学腫瘍生体エレクトロニクス  
 福島県立医科大学器官制御外科学  
 福島県立医科大学臓器再生外科学 柴田 昌彦
- S2-12 大腸癌術後補助化学療法における治療前全身炎症反応の予後予測因子としての有用性  
 大阪市立大学大学院 腫瘍外科学 渋谷 雅常

## ランチョンセミナー 2

12:00 ~ 12:50

【共催：中外製薬株式会社】

- 演 題：分子標的薬治療の開発：消化器癌領域における新しい方向  
 座 長：山岸 久一（京都府特別参与 京都府地域医療支援センター センター長）  
 演 者：小島 隆嗣（国立がん研究センター東病院 消化管内科）  
 特別発言：塚田 一博（富山大学 消化器・腫瘍・総合外科）

## 特別講演2

13:00 ~ 14:00

- 座 長：中嶋 弘一（大阪市立大学大学院医学研究科 免疫制御学）  
 演 者：河本 宏（京都大学再生医科学研究所 再生免疫学分野）  
 演 題：iPS細胞技術を用いたがん抗原特異的キラー T細胞の再生—がんの免疫細胞療法を革新する可能性—

## 一般演題（口演）10 「分子標的治療」

14:00～14:30

座長：太田 哲生（金沢大学 消化器・乳腺・移植再生外科）

石田 秀行（埼玉医科大学総合医療センター 消化管・一般外科）

- 10-1 病理組織からみた抗EGFR抗体の免疫的作用機序の検討  
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 井上 由佳
- 10-2 胃癌における腫瘍溶解型ヘルペスウイルスの新たな可能性  
和歌山県立医科大学 第2外科学講座 松村 修一
- 10-3 ラパチニブによる胃癌に対する細胞増殖抑制とトラスツズマブ抗体依存性細胞障害活性の増強効果  
山梨大学医学部 外科学講座第一教室  
シンガポール国立大学 白石 謙介
- 10-4 進行再発乳癌におけるpaclitaxel+bevacizumabの使用経験と評価  
日本大学 医学部 外科学系 乳腺内分泌外科分野  
医療法人社団 藤崎病院 外科 鈴木 周平

## 一般演題（口演）11 「化学療法」

14:30～15:15

座長：吉松 和彦（東京女子医科大学東医療センター 外科）

門田 卓士（NTT西日本大阪病院 消化器外科）

- 11-1 S-1投与マウスに基づく5-FUの消化管障害が T cell subset へおよびす影響: S-1隔日投与法の有用性  
東北大学大学院 生体調節外科学分野 梶原 大輝
- 11-2 肺癌細胞株を用いたGemcitabineによるMICA/B発現増強の検討  
金沢大学病院 肝胆膵外科 宮下 知治
- 11-3 食道癌術前化学療法による周術期感染症リスク因子の検討  
岩手医科大学医学部 外科学講座 鴻巣 正史
- 11-4 HGFによるEMT状態での抗癌剤の影響  
岐阜大学 腫瘍外科 福田 賢也
- 11-5 化学療法後に傍腫瘍性神経症候群を発症したS状結腸癌術後肝・肺転移の1例  
横浜市立市民病院 消化器外科 高橋 正純

- 11-6 化学療法中の癌患者における全身倦怠感に対するL-カルニチン製剤の使用経験  
寺元記念病院 外科 柳川 憲一

**一般演題（口演）12「幹細胞」** **15:15～16:00**

座長：大辻 英吾（京都府立医科大学 消化器外科）  
藤原 俊義（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 消化器外科学）

- 12-1 大腸癌浸潤先進部間質における間葉上皮転換  
和歌山県立医科大学 第2外科 横山 省三
- 12-2 ヒト大腸癌細胞株を用いた癌幹細胞が豊富な細胞集団の誘導  
山口大学大学院 消化器・腫瘍外科学 吉村 清
- 12-3 Gemcitabine耐性膵癌の新治療法開発：Leukemia inhibitory factorの有用性の検討  
医療法人社団 珠光会  
九州大学大学院 医学研究院 腫瘍制御学 今泉 晃
- 12-4 大腸癌肝転移巣におけるCEACAM1 isoform balanceによる大腸癌幹細胞様特性誘導  
和歌山県立医科大学第二外科 山口 俊介
- 12-5 治療抵抗性膵癌幹細胞に関わるmicroRNAの同定  
大阪大学大学院 消化器外科学 長谷川慎一郎
- 12-6 プロテアソーム活性を利用した甲状腺癌幹細胞の新規同定法  
大阪大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学  
大阪大学大学院 医学系研究科 消化器癌先進化学療法開発学 福角 隆仁

**奨励賞授与・次期当番世話人挨拶・閉会式** **16:00～16:10**

シェラトン都ホテル大阪 4F ロビー（レセプションホール）

**一般演題（ポスター）5「症例報告2」** **14:00～14:50**

座長：中森 幹人（和歌山県立医科大学 第2外科）  
田中 浩明（大阪市立大学大学院 腫瘍外科）

- P5-1 サルコイドーシスによるリンパ節腫大のため術前進行度診断に苦慮した早期胃癌の1例  
大阪掖済会病院 外科 城月 順子

- |      |  |       |
|------|--|-------|
| P5-2 | StageⅣ胃癌化学療法施行中に胃穿孔を来した1例<br>大阪掖済会病院 外科                    | 奥野 倫久 |
| P5-3 | 術前化学療法が著効し、切除し得た膀胱浸潤直腸癌の一例<br>今里胃腸病院 外科                    | 土井 洋輔 |
| P5-4 | HER2陽性StageⅣ胃癌に対するTrastuzumab併用化学療法の治療経験<br>今里胃腸病院 外科      | 青松 直撥 |
| P5-5 | 術前化学療法にてpCRを得たcStageⅣ進行胃癌の1例<br>大阪市立総合医療センター 消化器外科         | 栗原 重明 |
| P5-6 | イマチニブを投与中に外科的介入を行った2例<br>社会医療法人ベガサス馬場記念病院 外科               | 西村 潤也 |
| P5-7 | 免疫療法が奏功したと考えられる胆嚢癌、膵癌の2症例<br>ビオセラクリニック<br>東京女子医科大学病院 消化器外科 | 酒井麻友子 |